

気象庁本庁庁舎における 「緊急地震速報モデル実験」の実施について

緊急地震速報については、本年3月12日に「緊急地震速報の本運用開始に係る検討会」の最終報告書がとりまとめられ、同速報をこの9月頃から国民へ提供するための準備が進められているところです。今般、4月23日(月)から、気象庁本庁庁舎においても、別紙のとおりモデル実験を開始することとしましたのでお知らせします。

このモデル実験によって、来訪された一般の方々に緊急地震速報を体験いただく機会をつくとともに、その際行うアンケート調査により、緊急地震速報の利用の心得に基づく対応行動等に関する課題の抽出を図ることとしています。気象庁としてはこのモデル実験をはじめとして、緊急地震速報の周知・広報活動を一層推進してまいります。

なお、このモデル実験では実際の地震で東京の推定震度3以上、及び月一回の訓練の際に緊急地震速報が放送されます。第一回目の訓練を4月23日(月)に行う予定です。

[本件に関する問い合わせ先]

気象庁地震火山部管理課

代表 03-3212-8341 (内線 4505)

気象庁本庁庁舎におけるモデル実験

項番	項目	摘要
1	モデル実験対象地域	・気象庁本庁庁舎内のすべてのフロアー（講堂、屋上ペントハウス及び東京管区气象台を含む）
2	モデル実験の実施主体	・気象庁
3	緊急地震速報の伝達対象者	・気象庁本庁庁舎内にいる外来者を含むすべての者
4	緊急地震速報の伝達基準	・気象庁本庁庁舎において、震度3以上の揺れが想定される場合。 ・月に1回の訓練実施。
5	緊急地震速報の伝達方法と告知内容	・館内放送により、原則、以下の内容をアナウンスする。 「（チャイム音）+緊急地震速報です。地震が発生しましたので落ち着いて行動してください。」
6	モデル実験実施の事前周知方法	【気象庁職員その他の庁内常勤者】 ・モデル実験実施マニュアルの配布。 ・技術的限界、情報を受信した際の行動等について講習会を実施。 【外来者】 ・庁舎内の各階掲示板等へのポスター掲示。 ・庁舎出入り口におけるビラの配布。
7	モデル実験開始日	・平成19年4月23日

(参考)

緊急地震速報モデル実験の概要（その1）

	宮崎県清武町におけるモデル実験	国立病院機構災害医療センターにおけるモデル実験
対象地域	・宮崎県清武町	・(独)国立病院機構災害医療センター(東京都立川市)
実施主体	・宮崎県清武町 ・(独)防災科学技術研究所 ・気象庁	・(独)国立病院機構災害医療センター ・特定非営利活動法人 リアルタイム地震情報利用協議会 ・気象庁
伝達対象者	・宮崎県清武町内の在住者	・(独)国立病院機構災害医療センター内の病院関係者、 外来及び入院患者(面会者等を含む)
伝達(放送) の基準	・宮崎県清武町において推定される震度が3以上となっ た場合に放送を行う	・(独)国立病院機構災害医療センターにおいて推定され る震度が4以上となった場合に放送を行う
伝達方法と 放送内容	・宮崎県清武町内の公共施設(小中学校含む)の館内放 送及び自治会所有の既設有線設備を用いて、戸別受信機 及び屋外放送設備(拡声器)による伝達を行う。 ・放送する内容は、推定される震度の大小に係らず、「(サイ レン)+地震が発生しました。注意して下さい。」の 旨の放送を行う。	・(独)国立病院機構災害医療センターの構内放送設備を 用いて、各施設(病棟を含む)へ伝達を行う。 ・放送する内容は、推定される震度の大小に係らないが、 大きな揺れが到達するまでの猶予時間に応じて、変化させ る。1例として、「(サイレン)+地震がきます+あ と 秒(10秒単位)で揺れます。揺れに備えて下さ い。」の旨の放送を行う。
事前の 周知方法	・広報紙への記事掲載 ・新聞の折込みによるビラの配布 ・館内放送及び有線放送設備を用いた音声による告知 ・各種集会や研修会における説明	・病院内関係者への説明会の実施 ・独立行政法人 国立病院機構災害医療センター内への ポスターの掲示 ・ビラの配布(外来者向け)
開始日	・平成18年11月14日	・平成18年11月27日

緊急地震速報モデル実験の概要（その2）

	会員制ネットワークを利用したモデル実験	愛知工業大学におけるモデル実験
対象地域	・全国	・愛知工業大学八草キャンパス（愛知県豊田市）
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・NTTコミュニケーションズ株式会社 ・株式会社ハレックス ・株式会社ヴァル研究所 ・気象庁 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知工業大学 ・気象庁
伝達対象者	・NTTコミュニケーションズ社 OCN IPv6 サービス加入者のうちモデル実験への参加を希望する者	・愛知工業大学八草キャンパス内の学校関係者、学生及び外来者
伝達(放送)の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のいるところで震度3以上が推定された場合、ポップアップを表示する。 ・自分のいるところで震度2以下が推定された場合であっても、その他の場所で震度4以上が推定される場合、ポップアップを表示する。 	・愛知工業大学八草キャンパスにおいて推定される震度が5弱以上となった場合に放送を行う
伝達方法と放送内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実験参加者のパソコンに対して伝達を行う。 ・端末側ソフトウェアにより、自分のいるところで推定される震度と主要動到達予測時刻を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知工業大学八草キャンパスの校内放送設備を用いて、キャンパス内各施設（グラウンドなどの屋外施設を含む）へ伝達を行う。 ・放送する内容は、推定される震度の大小に係らず、「（サイレン）+地震です。」の旨の放送を行う。
事前の周知方法	・モデル実験参加に係る案内用ホームページにおける周知	<ul style="list-style-type: none"> ・学内関係者へのパンフレットの配布と説明会の実施 ・受付におけるビラの配布（外来者向け）
開始日	・平成18年12月4日	・平成19年2月1日